

上田市学校給食運営審議会中間答申書に対する意見募集結果

1 件名

上田市学校給食運営審議会中間答申書

2 意見の募集期間

平成23年3月16日（水）から4月1日（金）まで

3 意見の提出状況

項目	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
男性	0	1	1	3	0	1	6
女性	1	3	5	7	4	0	20
計	1	4	6	10	4	1	26

(単位：人)

4 提出された意見数（項目別）

項目	意見数
全体に関して	5件
I 上田市の学校給食における理念	
1 理念	1件
2 理念に対する考え方	0件
II 学校給食における食育の推進について	
1 基本的な考え方	0件
2 教材としての活用	3件
3 地場産物の活用	2件
4 個別指導への対応	0件
III 安全で安心できるおいしい学校給食の提供について	2件
1 基本的な考え方	0件
2 衛生管理の徹底	0件
3 給食内容の充実	2件
IV 学校給食の運営のあり方について	
1 基本的な考え方	0件
2 調理方式	25件
3 運営形態	9件
合 計	49件

5 意見等の概要と審議会の考え方

(1) 全体に関して

意見等の概要		意見に対する審議会の考え方	答申書参照頁
ア	委員の皆さんが活発な審議等を行ってきたことに敬意を表する。 【2件】	<p>中間答申書に対する意見を募集したところ、多くの意見を寄せていただき、また、審議内容を評価いただきまして、厚く御礼申し上げます。なお、寄せていただいた意見は、答申の内容に反映しています。</p> <p>今後、この答申の内容などを踏まえて、上田市の学校給食のあり方について、予算配分なども含めて具体的な事項が検討されるものと考えています。</p> <p>これを機会に、市民の皆さんも学校給食さらには食への関心を一層高めていただき、今後の上田市の学校給食のあり方について考えていただくとともに、引き続き学校給食へのご支援をお願いします。</p>	—
イ	地域の大人たちは、学校給食についてもっと真剣に考える必要がある。【1件】		
ウ	答申結果を受け、上田市の次世代を担う子どもたちをはぐくむ学校給食に期待する。【1件】		
エ	教育分野へ予算を重点配分することは、地域経済の活性化も期待できる。【1件】		

(2) 理念

意見等の概要		意見に対する審議会の考え方	答申書参照頁
ア	この理念を市職員はじめ多くの市民が共有すべきである。【1件】	<p>上田市の学校給食における理念を「次世代を担う子どもたちをはぐくむ学校給食」とするのが望ましいと考えた理由などは、答申書に記載のとおりです。</p> <p>この理念をはじめとする答申の内容は、10回にわたる審議会を開催し、慎重かつ活発な審議を重ねるとともに、市内の学校給食施設の視察なども行って得た結論です。したがって、行政はもちろんすべて市民の皆さんにも答申の内容をご覧いただき、ご理解いただきたいと思います。</p>	1頁・ 2頁

(3) 教材としての活用

意見等の概要		意見に対する審議会の考え方	答申書参照頁
ア	子どもたちの生産体験には保護者の協力を得るとともに、食への意識の向上が図れるよう生産者との交流や調理体験などの機会の増加を望む。【1件】	<p>食に関する問題は、本来家庭が中心となって担うものでありますが、学校が要となって家庭や地域と連携して、子どもに対する食育を推進していくことも強く求められています。</p> <p>したがって、ご指摘のとおり、あらゆる機会を通じて、保護者をはじめ市民の学校給食への理解を図るとともに、学校給食や食の重要性に対する児童生徒の理解を深めるため、生産体験や調理体験などの学校における食育の取組を充実していくことが重要であると考えています。</p>	3頁② 8頁②・ 7頁④

意見等の概要		意見に対する審議会の考え方	答申書参照頁
イ	食文化を守り、地域の農業や経済を守るため、学校給食における食育や地産地消をより一層推進すべきである。【1件】	学校給食を教材として活用する目的は、児童生徒に栄養バランスのとれた食事内容等を体験によって学ばせることや、実際に見る・食べるといった行為を通じて楽しみながら食に対する興味・関心を引き出すことにあります。 また、学校給食に地場産物を活用する目的は、児童生徒が地域の食文化や伝統に対する理解を深め、食への関心を高めることにあります。 これらのことを推進することによって、将来的には食文化を守り、地域の農業や経済を守ることにもつながると考えています。	5頁4)
ウ	学校給食は、実際に食べるという体験を通して子どもたちの五感を豊かにし、その準備を通して協調性も育つ。また、地域に根ざした食文化を受け継ぐよい機会である。【1件】	学校給食を教材化することや学校給食に地場産物を活用することによって、上記イの考え方に記載した高い教育的効果が期待できます。	5頁4)

(4) 地場産物の活用

意見等の概要		意見に対する審議会の考え方	答申書参照頁
ア	子どもたちが地域の自然・文化や産業を理解し、また、地域を活性化する取組として、学校給食における地場産物の活用を期待する。【1件】	学校給食に地場産物を活用することは、学校給食を教材として活用するための取組の一つとしてとらえています。 そして、この地場産物の活用によって、児童生徒が地域の食材を通じてその地域の自然や文化、産業等に関する理解を深めるとともに、それらの生産等に携わる者の努力や食への感謝の念をはぐくむうえで非常に効果があると考えています。	9頁1文
イ	自分が食べる食材がどのような人たちによって生産されているのかについて知ることは、食育の基本であり、地場産物の活用の数値目標を定め、高めていく必要がある。【1件】	学校給食に地場産物を活用することの意義等は、上記アの考え方に記載のとおりです。 その目標とすべき事項については、量も大事だが質に重点を置いて推進していくべきであると考え、できるだけ多くの種類の食材を使用し、上田市産の地場産物を大事にする心を養い、故郷である上田に愛着をもつようにすることとしています。 なお、食育推進基本計画に掲げられている目標値（学校給食における地場産物の使用割合を食材数ベースで30%以上とする）は、引き続き達成していくことが望ましいと考えます。	9頁1文 9頁2)

(5) 安全で安心できるおいしい学校給食の提供について

意見等の概要		意見に対する審議会の考え方	答申書参照頁
ア	次世代を担う子どもたちが安心して食べることができる学校給食を望む。【2件】	提供される学校給食が安全であり、児童生徒が安心して食べることができるものであることは、どんなことにも優先していかなければならない事項であると考えています。 それを実現していくためには、衛生管理の徹底等を図っていくことが重要であると考えています。	14頁2) 15頁1文

(6) 給食内容の充実

意見等の概要		意見に対する審議会の考え方	答申書参照頁
ア	米飯給食の実施回数を週3回から週4回に増加されることを期待する。【1件】	上田市における米飯給食の実施回数は、学校給食施設ごとで異なっています。 この現状や献立の多様化に対する児童生徒の期待なども考慮して、日本型食生活のよさを児童生徒に伝えられるよう、基本的に米飯中心の主食としつつも、柔軟にパンや麺を取り入れていくことが望ましいと考えています。	27頁 参考資料9 18頁3ア
イ	食の欧風化が進み、健康面からも和食が見直されてきている中では、米飯給食を中心とした献立を多くすべきである。【1件】		

(7) 調理方式

意見等の概要		意見に対する審議会の考え方	答申書参照頁
ア	<p>単独調理場方式が望ましいとする方針を支持する。【23件】 (単独調理場方式が望ましいとする主な理由)</p> <p>① 調理の際に漂ってくる匂いなどにより、児童生徒が給食をより身近なものに感じることができる。</p> <p>② 調理する姿を見ることや毎日の配食や片付け時における児童生徒と給食員の交流は、感謝の心を育てるなど、子どもたちの人間形成にとって大切な教育の場となる。</p> <p>③ 児童生徒は食材の味や色、温度の変化が少ない給食を食べることができる。</p> <p>④ 学校給食に地域の特産品(松茸など)や規格外の野菜も使用することができ、地場産物の活用が推進できる。</p> <p>⑤ 食物アレルギー対応などできめ細やかな対応ができる。</p> <p>⑥ 災害時に小中学校が避難所になった場合に、調理場を利用して炊き出しを行うことができる。</p>	<p>この項目については、寄せられた意見が最も多く、あらためて市民の皆さんの関心の高さが伺えます。また、特徴的であったのが、この項目に対する意見の多くに考えた理由や根拠が明記されていたことでした。</p> <p>本審議会においても、単独調理場方式と共同調理場方式それぞれに効果と課題があることから、具体的な事例なども踏まえながら、ご指摘の左記の点も含め70以上の事由を挙げて比較検討した結果、単独調理場方式が望ましいとの答申を行いました。</p> <p>答申書に掲げた理由は3点になっていますが、数多くある各調理方式の効果と課題の中で、特に単独調理場方式に期待できる効果を列記してあると考えています。</p>	22頁①③
イ	<p>上田市の給食センターは、地元農産物の利用、食材の当日入荷・当日処理、早朝から準備を行うなど、他市と比較すると手間をかけた全国にも誇れる給食を提供している。 【上記アの23件のうち3件】</p>	ご指摘いただきました点は、答申書にも記載しています。	21頁イ
ウ	<p>中間答申書中の調理方式一方針一理由に、学校給食が教育活動の一環であるとの観点に立ち、子どもの心を育てることを重視することを追加してほしい。 【上記アの23件のうち1件】</p>	ご指摘いただきました点は、答申書にも記載しています。	1頁・2頁

